

第 1 回神戸市がん対策推進懇話会意見と今後の方向性について

がん検診について第 1 回がん対策推進懇話会で頂いた主なご意見

第 1 回神戸市がん対策推進懇話会でのご意見と終了後の FAX でのご意見を、各課題に対して以下のように整理した。

1. 神戸市が行うがん検診の項目について

(1) 課題

現在、神戸市では科学的根拠に基づくがん検診と国が評価した以外のがん検診を行っていること、また、科学的根拠に基づくがん検診と評価された以外のがん検診項目実施の提案があるが、神戸市として実施するがん検診項目をどのように考えていけばよいか。

(2) 懇話会でのご意見

○国が「有効性の確立した検診」と評価したがん検診項目の実施

- ・がん検診の有効性について根拠に基づく判断することは大変な作業であり各市町村レベルの仕事としては労力を使いすぎることと思われるので、有効性の判断は国に任せたいほうがよく、市町村は有効だと確認されている検診をいかに普及するかという方向で努力すべきではないか
- ・税金を使用する理由が説明できるがん検診に力を入れて取り組んでいく必要がある
- ・前立腺がん検診の中止を検討すること

○現在行っているがん検診項目以外の提案

- ・今現在のデータだけでがん検診を進めるというのでは、なかなか安心というものが担保できないのではないか
- ・小児がんもあるので、子どもの時からのがん対策も必要ではないか
- ・口腔がん検診実施の提案

2. 重点的に個別受診勧奨すべき対象について

(1) 課題

現在、個別の受診勧奨は40歳総合健診や一定年齢に対しての大腸がん・乳がん・子宮頸がん検診の無料クーポン券送付を行っているが、より重点的に受診勧奨をしたほうがよい対象についてどのように考えていけばよいか。

(2) 懇話会でのご意見

- ・年齢による利益・不利益のバランスからいうと、ある年齢層に集約して受診勧奨をしていくことが必要ではないか
- ・胃がん、大腸がん、肺がん検診は50～60歳代を集中して受診勧奨してはどうか
- ・がん検診の無料対象となっている「満70歳以上の方」を撤廃し、高齢者に対するより効果の高い別の保健医療福祉サービスの強化を検討されたい（高齢者については、がん検診による利益よりも不利益が上回ることが、既資料でも明示されている）
- ・職域でのがん検診対策も合わせて必要ではないか

3. がん検診の精度管理について

(1) 課題

現状では対象者名簿の整備ができていないこと、また特に個別検診において精検受診率等の精度管理が不十分等の課題があるが、神戸市として精度管理改善のために優先的に取り組むべき事項をどのように考えていけばよいか。

(2) 懇話会でのご意見

○体制整備・優先的に取り組むべき事項について

- ・対象者名簿を整備すること
- ・個別検診の精度管理の改善をすること（要精検率が高い、精検受診未把握率が高い）
- ・市職員・議員・教員の検診受診率の把握をすること

○精検受診率の改善について

- ・検診結果の文書の内容を練ること（要検査→要受診、要治療→病院受診）
- ・検診と合わせてがんの治療の流れを見えるようにすることで、医療機関につながるのではないかと

4. がん検診の効果的な広報や受診勧奨について

(1) 課題

現状では無料クーポン券送付、啓発イベントや広報誌等による受診勧奨を行っているが、より効果的な広報・受診勧奨方法としてどのようなものが考えられるか。

(2) 懇話会でのご意見

○広報の内容について

- ・がん対策基本法では検診を受けることは国民の責務となっており、これを広報に活用してはどうか
- ・早期発見と、そうでなかった場合の経過について伝えることで検診の効果を伝えてはどうか
- ・現在の広報はいっぱい盛り込みすぎではないか

○個別受診勧奨について

- ・がん検診（肝炎ウイルス検査及び陽性者のフォローを含む）の個別勧奨を実施していただきたい
- ・コール・リコールによる受診勧奨をすること
- ・がん検診の案内・検診便りを個別通知してはどうか

○がん教育について

- ・親への波及効果も期待できるので、がんを含めた命の大切さといった学校教育をしてほしい
- ・子どものころから検診は受けるものだという教育をしておくべきではないか

○その他のご意見

- ・肺がん検診の受診率が低く、検診の実施体制（集団検診、個別検診）や住民への広報の仕方を整理してはどうか
- ・広報に患者会を活用してほしい、街角宣伝を患者会にさせてほしい
- ・企業とのがん・がん検診の勉強会をすることで受診率が上がるのではないか
- ・がん検診受診啓発活動を強化して、市民の受診意識の涵養に一層注力していただきたい

5. 広報や受診勧奨以外のがん検診受診率向上のための対策について

(1) 課題

現状では検診料金の補助、集団健診では広範囲への検診車配車や休日の受診機会提供等の受診率向上対策を行っているが、より効果的な検診受診率向上のための対策として他にどのようなものが考えられるか。

(2) 懇話会でのご意見

- ・ スーパーマーケットのような場所で大規模な集団検診ができないか
- ・ 検診車の配車場所で、がん検診受診促進協定での連携企業の土地を活用できないか
- ・ 集団検診で事前申し込み不要で受診できる形はとれないか
- ・ 特に教員（市職員）の受診の必須化
- ・ がん検診（肝炎ウイルス検査及び陽性者のフォローを含む）を受けやすい環境づくりに一層注力していただきたい

そのほかに頂いたご意見

- ・ 年齢調整死亡率は年次推移で評価し、増加しているようなことがあったら問題があるので、そこに注目して対策を行うこと
- ・ 医療実績については将来的にはがん登録のデータでもって施設別に把握することが必要ではないか
- ・ 医療実績は、「神戸市民」、「神戸市に存在する医療機関」に区分して考えること
- ・ 肝がん対策として、肝炎ウイルス検査の実施と、陽性者を確実に医療につなぐことに尽力すること
- ・ 肝炎ウイルス検査について、個別通知を行うことと年齢上限の撤廃を検討すること

がん検診について市としての今後の方向性

1. 神戸市が行うがん検診の項目について

- ・原則として、神戸市では国が「有効性の確立した検診」と評価したがん検診項目を実施する

2. 重点的に個別受診勧奨すべき対象について

- ・胃がん、大腸がん、肺がん検診については50～60歳代を重点対象とする
- ・乳がん検診については50歳代を重点対象とする
- ・子宮頸がん検診については20～30歳代を重点対象とする
- ・職域と連携をしたがん検診受診対策を進めていく

3. がん検診の精度管理について

- ・がん検診システム台帳を整備する
- ・乳がん検診（個別検診）について精度管理体制の構築と、乳がん検診（個別検診）、肺がん検診と大腸がん検診について精密検査未受診者に対する受診勧奨を行う
- ・検診結果返却文書（大腸がん検診、胃がん検診、乳がん検診（集団））の内容の見直し

4. がん検診の効果的な広報や受診勧奨について

- ・懇話会のご意見や国や他自治体の好事例を取り入れ、より効果的な広報を推進していく
- ・重点的に受診勧奨すべき対象にコール・リコールを含めた個別受診勧奨を行う
- ・教育委員会と協力し、がんに対する正しい知識が身につく「がん教育」を推進する
- ・がん患者や企業等との連携による受診勧奨をより進めていく
- ・ピンクリボンやリレーフォーライフ等の神戸開催のがん啓発イベントを支援する
- ・市民に対するがんの講演や教育を推進し、がんについての正しい知識が得られる機会を作る

5. 広報や受診勧奨以外のがん検診受診率向上のための対策について

- ・市民にとって利便性の高い場所への検診車の配車を推進する
- ・特定健診と複数のがん検診を同日に受診可能とするよう検討する（健康ライフプラザ等の活用）
- ・検診実施事業者と調整し、集団検診で空きがある場合には事前申し込み不要であっても受診できる会場を増やしていく